

## 正誤表

本書に下記の間違がありました。お詫びして訂正いたします。

### P7 1.2 中村哲の出会い 玉井家の解説

誤	正
中村の母方の祖父。金吾郎と妻・マンは 港湾労働者を取りまとめる玉井組を率い ていた。二人をモデルにして書かれたの が、息子・葦平による <u>芥川賞受賞作</u> 『花 と龍』。	中村の母方の祖父。金五郎と妻・マン は港湾労働者を取りまとめる玉井組を 率いていた。二人をモデルにして書か れたのが、 <u>芥川賞作家の息子・葦平</u> に よる『花と龍』。

### P13 サンドル工房から用水路へ 筆者肩書

誤	正
木下直之 <u>東京大学大学院教授、静岡県立美術館館長</u>	木下直之 <u>静岡県立美術館館長、神奈川大学特任教授</u>

### P15 医者、井戸を掘る 9行目

誤	正
<u>消して</u> 珍しくはなかった	<u>決して</u> 珍しくはなかった